

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.38 2020 年 11 月

No.
38



蔡國華：日落



---Information---

アートスペース 画空間 展覧会情報

蔡國華作品展

SESSION

— 新作と collection 展 —

11月25日(水) ~ 12月1日(火)

12:00 ~ 18:00 (最終日は 17:00 終了)



アートカレンダー 2021 を同時発売いたします
お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください
コロナ対策を万全にしてお待ちしております

デザイン：加藤麻依子 (画空間)

ユーザーの声をフィルムに表現する

クリロン化成株式会社

<https://www.kurilon.co.jp>

KURILON Workshop

<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

Art Space
画空間

<http://www.a-kukan.com/>

Studio
My空間

<http://www.a-kukan.com/mykukan/>



創立60周年を迎えました



▲60周年記念鼎談（60周年記念誌に掲載） 栗原社長 / 栗原取締役 / 石川教授（左から）

お陰様をもちまして、当社は2020年10月に創立60周年を迎えました。これもひとえに多くの方々からのご支援があったからこそと深く感謝しております。

創立60周年を迎えるにあたり、これまで支えて頂いた皆さまに感謝の意を伝えるためのチームとして、社内の各部門とクリロンワークショップのメンバーが集う「感謝の会特別委員会」が2019年11月に発足いたしました。

以来、「60周年感謝の会（第14回新製品説明会）」の企画立案や周年ロゴ作成、キャンペーン企画など、会社と協議する日々が始まりました。

最大のイベントとして今年10月に予定していた「60周年感謝の会」については、このコロナ禍の中で果たして開催はできるのか、お客様に来てよかつたと思っただけで、準備をしながら、結果として7月に中止するという決断を下し、私たち特別委員会メンバー全員が、がっかりした出来事でした。

しかし「感謝の会」がなくても、新製品紹介、60周年を迎えるの意気込み、そして皆さまへの感謝をお届けすることは可能であると考えました。とくに力を入れたのは期間限定60周年ロゴと記念誌制作です。

ロゴについては、弊社の封筒や製品カタログ、名刺等に貼られているのにお気づきの方もおられると思います。自転車のようなロゴですが、自転車ではありません（笑）。未来に向かって、無限大の可能性があるというイメージ、意味合いを込めて作成しました。記念誌については、幅広く意見や想いを取り入れながら形にし、ようやく完成に至りました。創業からの歩みを見ていただける内容となっており、その当時の新製品を振り返ることもできます。

これからも皆さまとご縁と繋がりを大切にしながら、私たち社員一同は、新しい包装の可能性を切り拓き、社会に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いたします。

感謝の会特別委員会
山崎順司・谷川晃史・谷川愛

わくわくアトリエ
ステンドグラス風カード

8月に長らくお休みだったわくわくアトリエを開催しました。コロナのこともあり、小規模・短時間ではありましたが、皆と一緒に「ステンドグラス風カード」の制作を楽しみました。

透明なフィルムに好きな色のセロハンを挟むだけで綺麗な模様が出来上がります。余った部分でしおりも作ることができ、満足そうな子供達の笑顔が見られました。

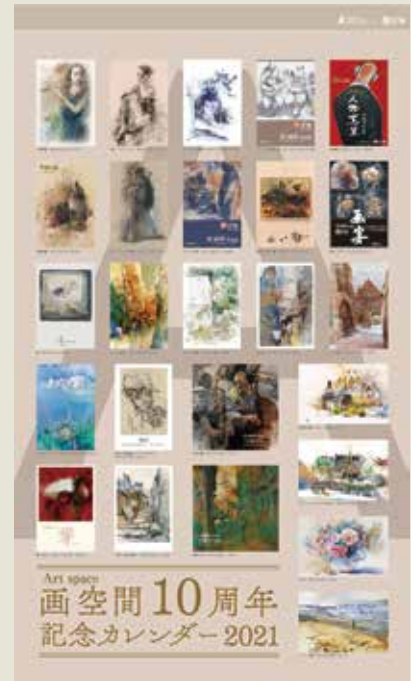
MY空間 小西由夏

WAKUWAKU ATELIER

<http://www.a-kukan.com/mykukan/wakuwaku/>

2021 ART CALENDAR

<http://www.a-kukan.com/>



サイズ：40cm×66cm
枚数：12月始まりの10枚
価格：2,000円（税別）

銀座アトリエスペース画空間は、来年2021年に10周年を迎えます。今回のアートカレンダーでは、過去開催された展覧会で使用した全25種類のDMを表紙に並べた10年間を振り返る記念カレンダーとなっています。10月19日より、画空間ギャラリーまたはamazonで販売されます。詳しくは画空間HPをご覧ください。

画空間 豊島愛

資格検定試験をオンラインで

2020年9月7日にオンラインによる情報技能資格「広報」初級筆記試験が実施されました。

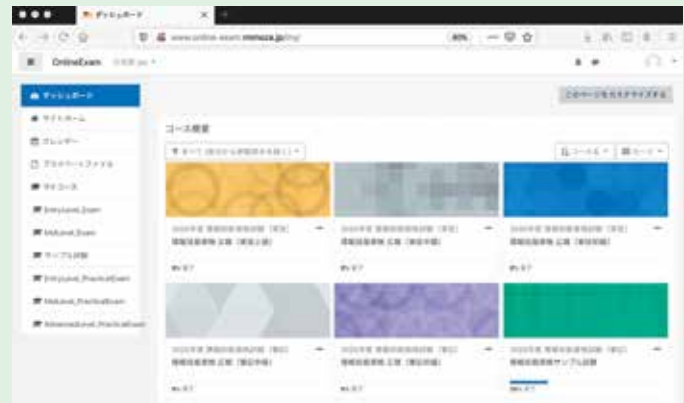
オンライン試験は、ウェブ上で受験することを可能にするシステムです。人材部により毎年実施されている情報技能資格「広報」試験は筆記と実技があります。従来の筆記はウェブ上でのテストに、実技は配布データや提出課題データをウェブ上で処理するように移行されました。

受験者はオンラインでどこからでも受験環境にアクセスでき、試験管理者は受験情報デジタルデータで管理運用できるという画期的なシステムです。

画空間 小路 純子

ONLINE EXAMINATION

www.online-exam.mimoza.jp



第21回

緑風会を終えて

当社には、勤続年数や職責別に、職種を横断した親睦研修会があります。

入社4年未満の若手社員が所属する「緑風会」では、各部署から選出された実行委員が中心となり、研修の企画・運営を行っています。

今年度は当初、「組織文化を理解する」をテーマに掲げ6月に1泊2日の研修を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を鑑みて、TV会議を活用したディスカッション研修に変更しました。



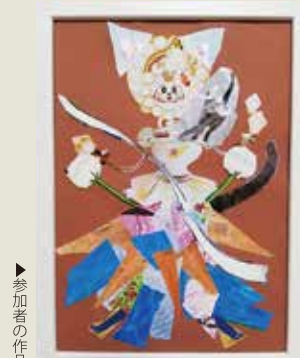
ディスカッションは事前にアンケートを実施し、その中から、「時間の使い方」「協働について」「貢献するには？」「三人寄れば文殊の知恵」「叱られ上手とは？」という5つのテーマに厳選しました。

全体を10班に分け、2班ずつ同じテーマで議論しました。事前準備やディスカッション、議論のまとめ方など各班にやり方を任せたことで、どの班も趣向をこらした進め方やまとめ資料が作成され勉強になりました。また参加者の主体的な活動へと繋げることができたと感じています。議論に先輩社員も参加して頂いたため、今後の目標や、自分たちが今からできること・やるべきことがより明確になりました。

今回の緑風会を通して、参加者一同が仕事の仕方を工夫することの大切さを改めて実感しました。ディスカッションを進めるにあたり、対面とTV会議、双方それぞれの良さを感じました。

TV会議での研修の在り方をさらに検証し、今後に繋げていきたいと思っております。

緑風会実行委員長 中川友紀



▶参加者の作品



ONLINE WORKSHOP

<http://www.a-kukan.com/mykukan/eventreports/2020/10/09/418/>

チヒロポのオンラインワークショップ

9月27日にオンラインでお話してコミュニケーションを取りながら、特製台紙をベースにフォトコラージュを制作するワークショップにチャレンジしました。

8家族15人（おとな8人子ども7人）が参加し、当日はワイワイガヤガヤ。お家でみつけた作品の素材や、制作途中の作品を見せ合ったり、最後には自分の作品に名前をつけて発表しました。

コロナ禍でレジャーが制限されがちですが、お家時間を自ら楽しめるたぐいましい『遊び力』に繋がってほしいと考え実施し、ご好評いただきました。

コラージュアーティスト チヒロポ